セットアップマニュアル

DuraVision®
MDS1901
カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ずこのセットアップマニュアルおよび取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。このセットアップマニュアルは大切に保管してください。

- モニターの設定 / 調整については、取扱説明書を参照してください。
- セットアップマニュアルを含む最新の製品情報は、当社のWebサイトから確認できます。
  www.eizo.co.jp

絵表示について

本書および本体では次の絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。
△	注意（警告を含む）を促すものです。
⊘	禁止の行為を示すものです。
●	行為を強制したり指示するものです。

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

1. 本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. この製品の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

使用上の注意

重要

製品の仕様は販売地域により異なります。販売地域外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。

This product has been adjusted specifically for use in the region to which it was originally shipped. If operated outside this region, the product may not perform as stated in the specifications.

ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」をよく読み、必ずお守りください。

製品に使われている記号について

記号	意味
	電源スイッチ：この製品の電源をオンまたはオフにします。
	直流
	交流
	危険電圧
	注意

警告

⚠ 警告

この製品は筐体機器組み込み型のため、モニター単体での使用は絶対にしない

そのまま使用すると感電や故障の原因となります。



⚠ 警告

万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店またはEIZOメンテナンスセンターに連絡する

そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。



⚠ 警告

分解しない、製品を改造しない

この製品内部には、高電圧や高温になる部分があり、感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。



⚠ 警告

修理は販売店またはEIZOメンテナンスセンターに依頼する

お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。



⚠ 警告

異物を入れない、液体を置かない

この製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。

万一、この製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、すぐに電源プラグを抜き、販売店またはEIZOメンテナンスセンターにご連絡ください。



⚠ 警告

次のような場所で使用しない

火災や感電、故障の原因となります。

- 屋外
- 強い振動や衝撃を受ける場所への搭載
- 湿気やほこりの多い場所
- 水滴のかかる場所。浴室、水場など
- 油煙や湯気が直接当たる場所
- 熱器具、加湿器の近く
- 直射日光が直接製品に当たる場所
- 可燃性ガスのある環境
- 腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）が発生する環境
- ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境



⚠ 警告

使用者が背面の電源入力部に触れることがないように設置する

電源入力部に触れると感電の原因となります。

電源入力部に対しては、組み込み後の最終製品の適用規格に従って絶縁保護してください。



⚠ 警告

定格電圧範囲内で使用する

火災や感電、故障の原因となります。モニターの入力端子で次の電圧になることを確認してください。

電源：

AC　AC100-240 V、50 / 60 Hz

DC　DC+24 V



⚠ 警告

AC電源コネクタを使用する場合は、電源コードが次の要件を満たしていることを確認する

この製品に電源コードは付属していません。要件を満たす電源コードを準備してください。

電源コードは、この製品を使用する国や地域の強制規格に適合したものでなければなりません。

- 日本：定格　AC125 V 7 A、コードタイプ　VCTF、0.75 mm^2
- ヨーロッパ：定格　AC250 V 10 A、コードタイプ　H05VV-F、GTCE-3、0.75 mm^2
- アメリカ：定格　AC125 V 10 A、コードタイプ　SVT、3 / 18 AWG（0.75 mm^2）
- 中国：定格　AC250 V 10 A、コードタイプ　配60227 IEC53 3 × 1平方毫米



⚠ 警告

AC電源コネクタを使用する場合は、電源コードのアースを必ず接地する

感電の原因となります。



⚠ 警告

DC電源端子台を使用する場合は、確実に接続する

端子台が外れると火災や感電の原因となります。



⚠ 警告

すべての電源接続が完了してから、電源を供給する

電源が供給された状態で接続すると、感電の原因となります。



⚠ 警告

DC電源端子台を使用している場合は、通電中に端子台に触れない

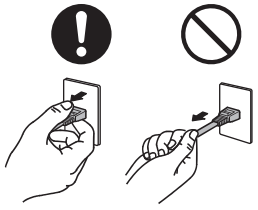
端子台に触れると感電の原因となります。



⚠ 警告

電源コードを抜くときは、プラグ部分を持つ

コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。





⚠ 警告

DC電源端子台を取り外すときは、端子台部分を持つ

ケーブル部分を引っ張るとケーブルが傷つき、火災、感電の原因となります。

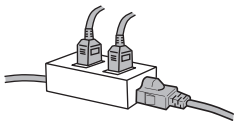


⚠ 警告

次のような誤った電源接続をしない

誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。

- 取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続
- タコ足配線





⚠ 警告

電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。



⚠ 警告

雷が鳴り出したら、電源プラグやコードには触れない

感電の原因となります。



⚠ 警告

液晶パネルが破損した場合、破損部分に直接素手で触れない

もし触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。

万一、漏れ出た液晶が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。



⚠ 警告

定期的にねじの締め付けを確認する

締め付けが不十分な場合、モニターが外れ、けがや故障の原因となります。



注意

⚠ 注意

運搬のときは、接続コードやオプション品を外す

コードを引っ掛けたり、移動中にオプション品が外れたりして、けがの原因となります。



⚠ 注意

濡れた手で電源プラグに触れない

感電の原因となります。





⚠ 注意

電源プラグの周囲にものを置かない

火災や感電防止のため、異常が起きたときすぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。



⚠ 注意

電源プラグ周辺は定期的に掃除する

ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。



⚠ 注意

クリーニングの際は電源入力を遮断する

電源を入力したままでおこなうと、感電の原因となります。



目次

使用上の注意 3
重要 3
製品に使われている記号について 3
警告 4
注意 8

1 はじめに 10
1.1 梱包品の確認 10
1.2 各部の名称と機能 11

2 設置 / 接続 13
2.1 設置する 13
2.1.1 設置条件 13
2.1.2 設置面の条件 14
2.1.3 取付方法 15
2.2 接続する 18
2.3 画面を表示する 23
2.4 タッチパネルをセットアップする（タッチパネル搭載モデルのみ） 24
2.4.1 タッチパネルの設定方法 24
2.4.2 タッチ操作を設定する（Windows標準ドライバを使用する場合） 25
2.4.3 タッチパネルの操作設定をおこなう（Windows標準ドライバを使用する場合） 26
2.5 ECDISのセットアップ 27
2.6 電源を切る 27

保証書 28

1 はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1.1 梱包品の確認

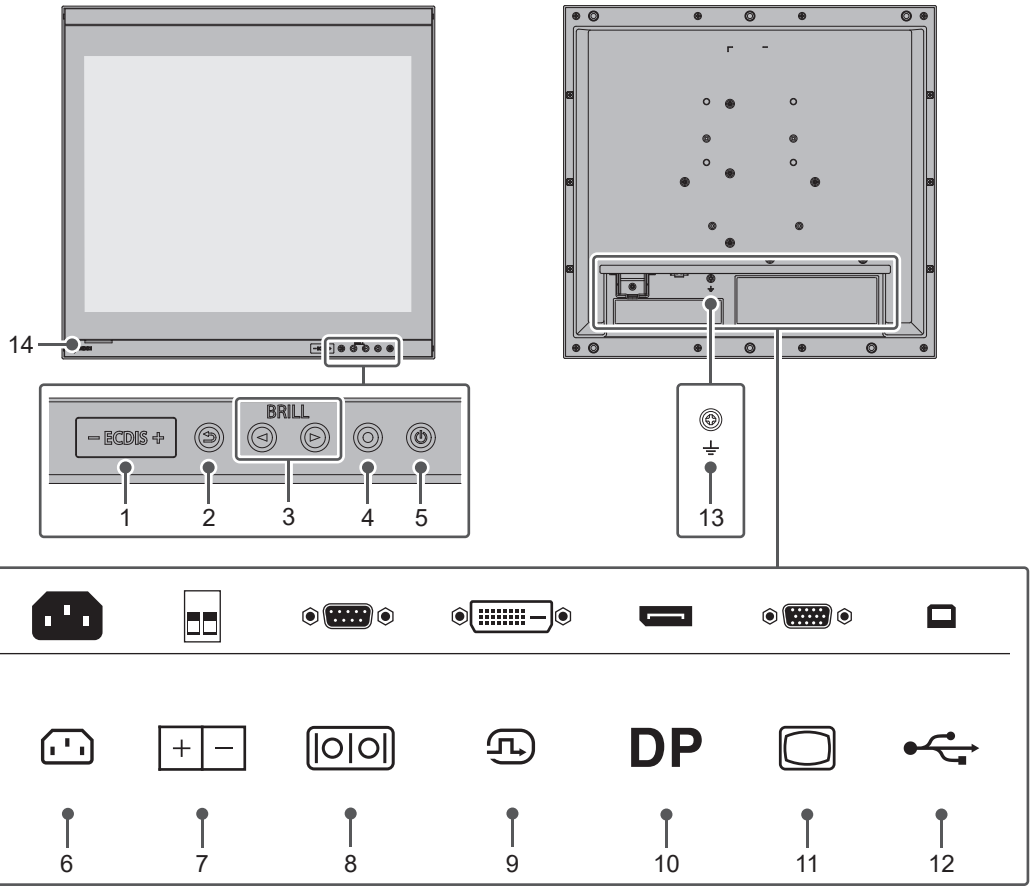
次のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、販売店または別紙のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

参考

- 取扱説明書は製品に付属していません。次の手順で当社Webサイトからダウンロードしてください。
  1. www.eizo.co.jpにアクセスします。
  2. メニューから「サポート」>「取扱説明書」を選択します。
  3. 「製品名から検索」のテキストボックスに「MDS1901」と入力して、「検索」ボタンを押します。
  4. 取扱説明書のアイコンをクリックします。
- 梱包箱や梱包材は、この製品の移動や輸送用に保管していただくことをお勧めします。

- モニター本体
- セットアップマニュアル（本書、保証書付き）
- お客様ご相談窓口のご案内
- クリーニングクロス

1.2 各部の名称と機能



1. ECDIS インジケータ	モニターのブリリアンスがECDISの調整値に設定されている場合は、「ECDIS」の文字が緑色に点灯します。
2. ⑤ボタン[※1]	設定メニューを終了します。 タッチパネル搭載モデルでは、タッチパネル関連の機能を実行します。
3. ◀ ▶ボタン[※1]	設定メニュー表示中に項目の選択や機能の調整または設定をしたり、明るさ調整画面を表示します。
4. ◉ボタン[※1]	設定メニューを表示し、各メニューの調整項目を決定したり、調整結果を保存します。
5. ⏻ボタン[※1]	電源のオン / オフを切り替えます。 電源を切るときは、⏻を5秒以上押します。電源が切れるまでの残り時間が表示された後、電源が切れます。 **参考** 電源が入った状態で⏻を押すと（短押し）、設定メニューの「インフォメーション」が表示され、モニターの情報や入力信号の情報を確認できます。
6. AC電源コネクタ	電源コードを接続します。 出荷時は絶縁カバーが付いています。
7. DC電源コネクタ	DC電源端子台を取り付けます。

8. RS-232Cポート[※2]	D-Sub9ピン（メス）コネクタ RS-232C通信でモニターを制御する場合に接続します。
9. DVI（DVI-D）コネクタ	DVI出力のあるコンピュータを接続します。
10. DisplayPort™コネクタ	DisplayPort出力のあるコンピュータを接続します。
11. D-Sub15ピン（ミニ）コネクタ	D-Sub出力のあるコンピュータを接続します。
12. USB-Bコネクタ（アップストリーム）[※2]	USB経由でモニターを制御する場合に接続します。 タッチパネル搭載モデルでは、タッチパネルモニターとして使用する場合にUSBケーブルを接続します。
13. 機能接地端子（⏚）	機器の安定動作を目的とした接地（機能接地）のための端子です。 ねじ穴は、M4（呼び径4 mm）、深さ6 mmです。
14. ブザー	システム側からの制御によりブザー警告音を鳴らすことができます。 **参考** システム側からの制御の詳細は、別紙のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

※1 電源を入れると、ボタンが緑色に点灯します。
※2 同時に使用することはできません。

2 設置 / 接続

2.1 設置する

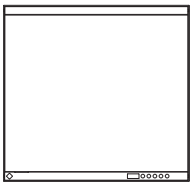
この製品は、筐体への組み込み設置のほか、当社別売オプション品のチルトスタンド（MDS-T192）を使用して取り付けることも可能です。取り付け方法はMDS-T192の取扱説明書を参照してください。

注意点
• VESA規格準拠のアームや金具を使用する場合は、船級型式承認の適用範囲外となります。

2.1.1 設置条件

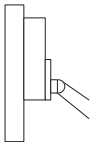
周囲に十分な空間を確保し、空気が循環するように設置してください。
設置可能な方向および設置角度（チルト角）は次のとおりです。

• 設置方向

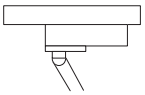


回転なし

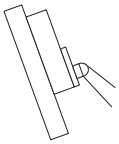
• 設置角度（チルト角）



標準



上：90˚



下：30˚

2.1.2 設置面の条件

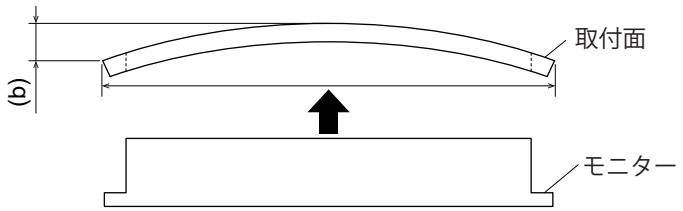
この製品を組み込む筐体の設置面の条件は次のとおりです。

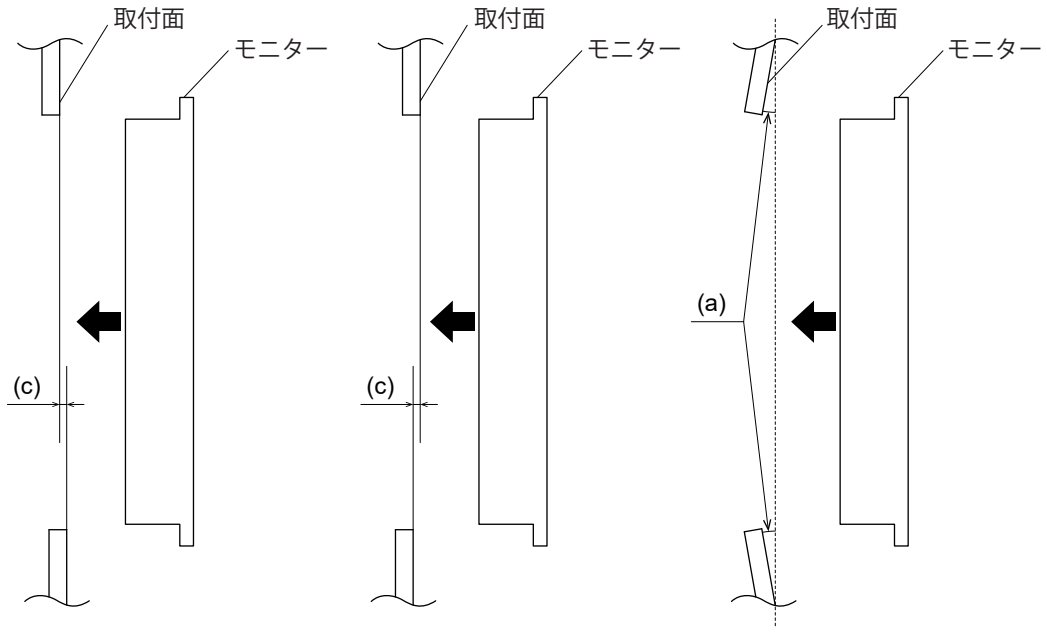
（a）背面方向への取付面（短辺）の傾き：0˚～1˚

（b）取付面（長辺）のたわみ・反り：0 mm ～1.0 mm

（c）取付面（短辺両端）の法線方向のずれ：0 mm ～1.0 mm

（d）取付面と設置面の許容隙間：0 mm ～1.0 mm



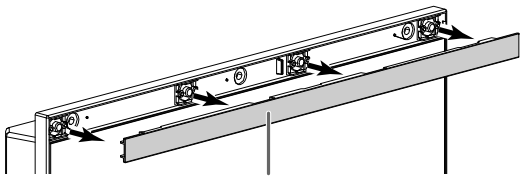


2.1.3 取付方法

注意点

- この製品に取り付け用のねじは付属していません。別途、組み込み先の筐体に対応する、呼び径5 mmのねじ（6本）を準備してください。
- 筐体に組み込む際は、2人以上で作業し、指を挟まないように注意してください。
- モニターはコンパスから離して設置してください。コンパスの誤差の原因となります。
  モニターとコンパスとの安全距離は次のとおりです。
  - 標準コンパス：1.50 m
  - 操舵用コンパス：0.95 m

1. モニター本体にはめ込まれているねじ目隠しカバーを取り外します。

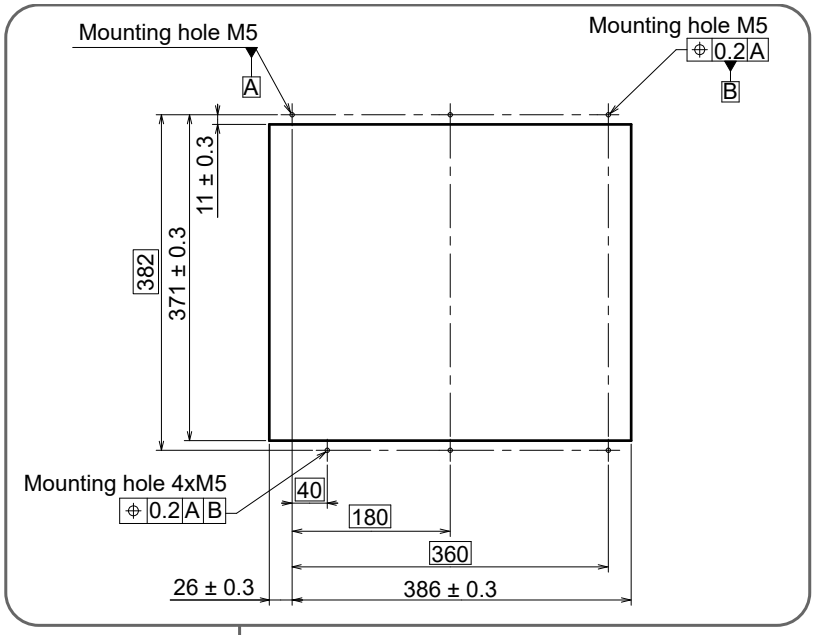


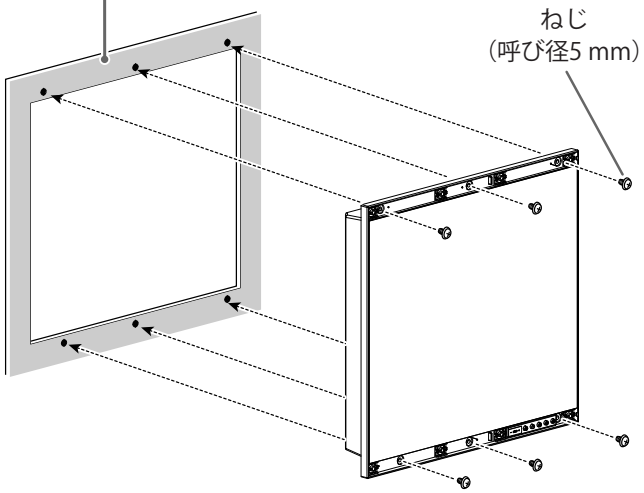
ねじ目隠しカバー（上 / 下）

2. モニターの筐体取り付け穴（上下3箇所）と組み込み先の筐体をねじで固定します（推奨トルク：1.6 N･m～1.8 N･m）。

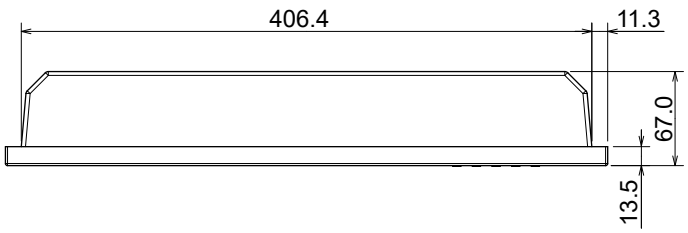
取付条件

• パネル開口寸法 / ねじ取り付け穴間隔（単位：mm）

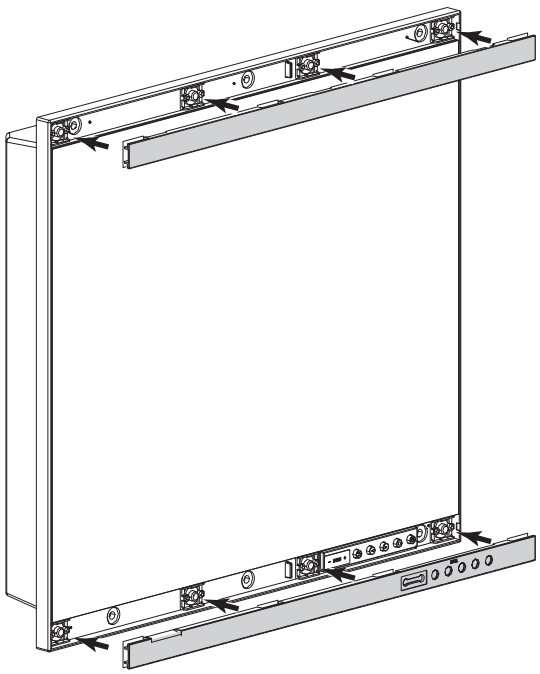




• モニターの厚み（単位：mm）



3. ねじ目隠しカバーをモニターに取り付けます。
   モニター本体にはめ込みます。

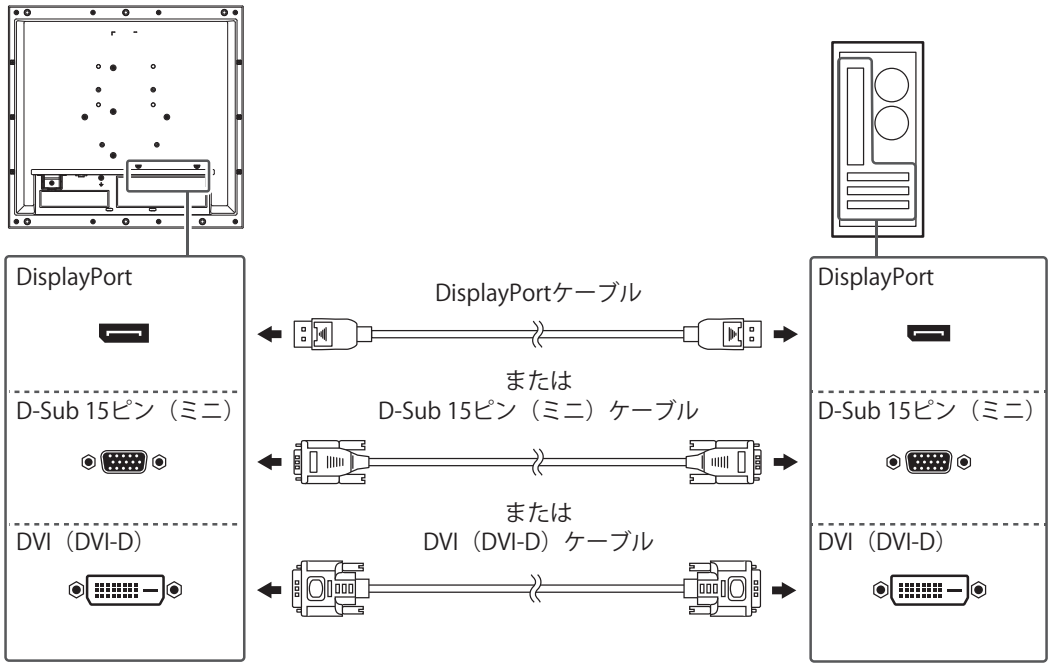


2.2 接続する

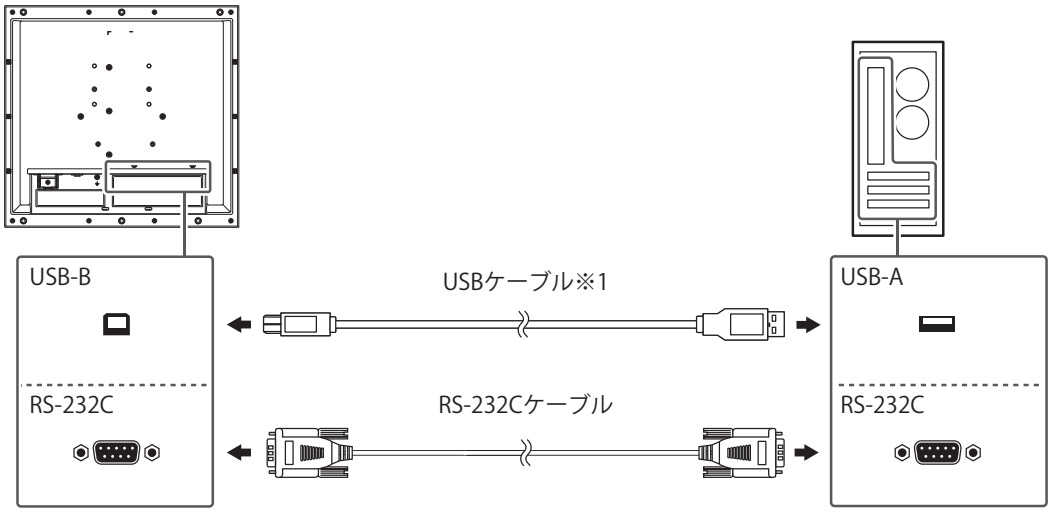
注意点

- ケーブルは、動作性能に問題がないことを確認してからご使用ください。
- コネクタの形状を確認して、ケーブルを接続してください。
- 固定ねじのあるコネクタに接続する場合は、ねじを最後までしっかりと回して、確実に固定してください。

1. 信号ケーブルを接続します。
   お使いのコンピュータに合ったケーブルを用意して接続してください。



2. USBケーブルまたはRS-232Cケーブル（ストレートタイプ）を接続します。システムからモニターを制御する場合に必要です。
   タッチパネル搭載モデルでは、タッチパネルモニターとして使用する場合にUSBケーブルの接続が必要です。タッチパネルはUSB接続されているコンピュータに対してのみ動作します。



※1 USBケーブルを接続する場合は、ケーブルが抜けないよう結束バンドで固定してください。この製品に結束バンドは付属していません。別途準備してください。

3. モニターを電源に接続します。
   電源への接続方法は次の2通りあります。設置環境や使用条件などに応じて接続してください。
   - AC電源コネクタを使用する場合 [P. 20]
   - DC電源端子台を使用する場合 [P. 21]

注意点

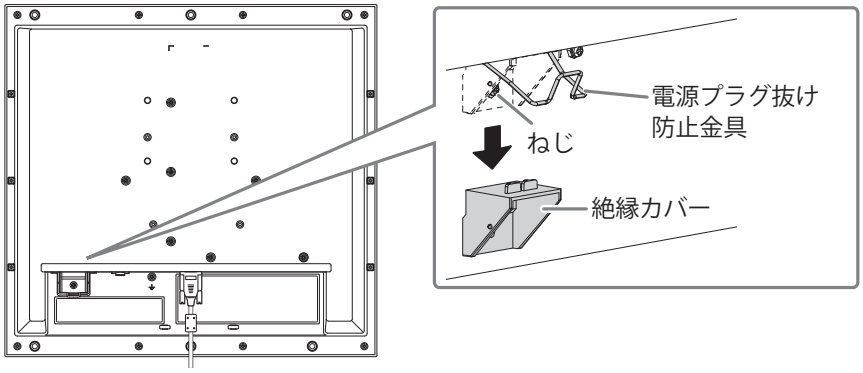
- モニターを電源に接続するまで、電源を供給しないでください。

参考

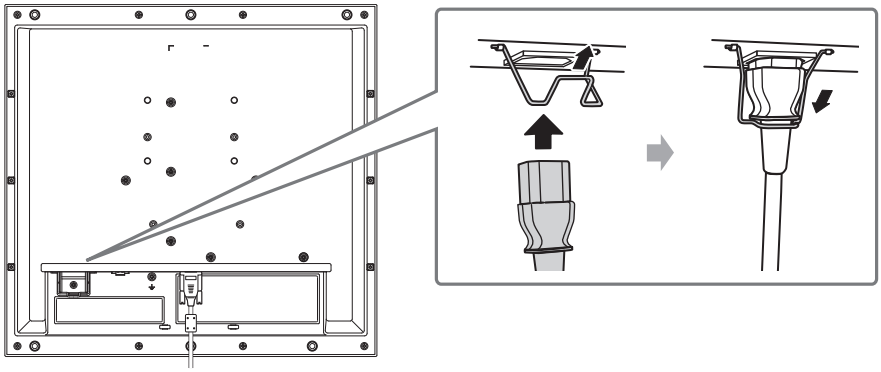
- 両方の電源へ接続した場合は、AC電源が優先されます。

AC電源コネクタを使用する場合

1. 絶縁カバーを固定しているねじを取り外します。
2. 電源プラグ抜け防止金具を持ち上げて、絶縁カバーをAC電源コネクタから取り外します。



3. 電源プラグ抜け防止金具を持ち上げて、AC電源コネクタに電源コードを接続します。
4. 電源コード接続後、電源プラグ抜け防止金具を下ろして、電源プラグを確実に固定します。

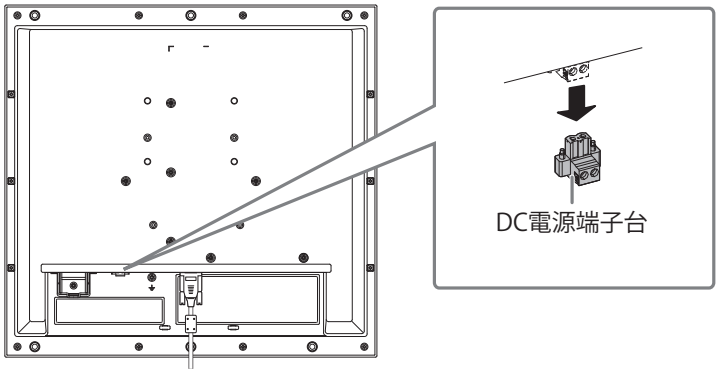


5. 電源コンセントに電源コードを接続します。

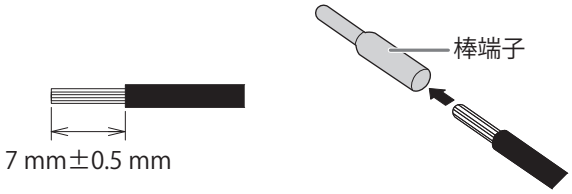
DC電源端子台を使用する場合

注意点
• 本製品の電源供給はIEC 60950-1規格のSELV（Safety Extra-Low Voltage）、またはIEC 62368-1規格のES1に適合した電源を使用してください。 • 電線は、AWG 18～12（0.8 mm^2～3 mm^2）のものを使用してください。

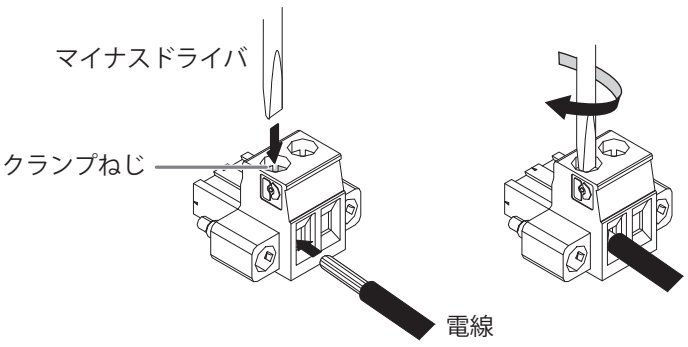
1. 端子台を取り外します。



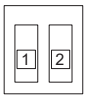
2. 電線の被覆を剥きます（被覆剥き線長さ：7 mm±0.5 mm）。先端処理が必要な場合は、棒端子（フェルール）を取り付けます。フェルールは、フェニックス･コンタクト社製のものをご使用ください。



3. 端子台に電線を挿入し、先端幅2.5 mmのマイナスドライバでクランプねじを締めます（推奨トルク：0.5 N･m～0.6 N･m）。

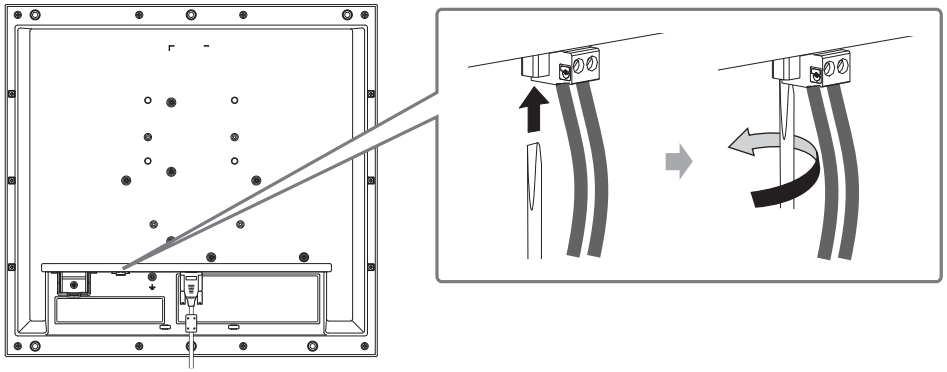


端子台の入力極性は次のとおりです。

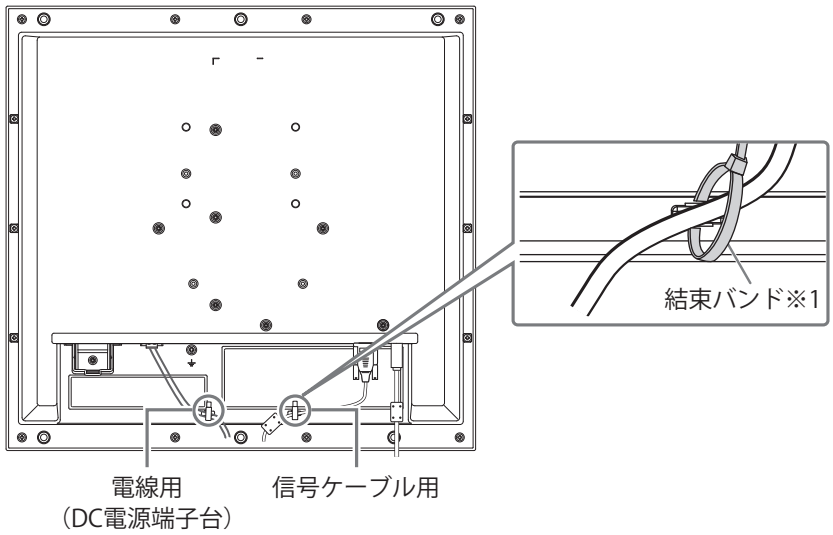


ピンNo.	入力極性
1	DC+
2	DC-

4. 端子台を取り付け、先端の幅が2.5 mmのマイナスドライバで左右のクランプねじを締めます（推奨トルク：0.2 N･m～0.3 N･m）。



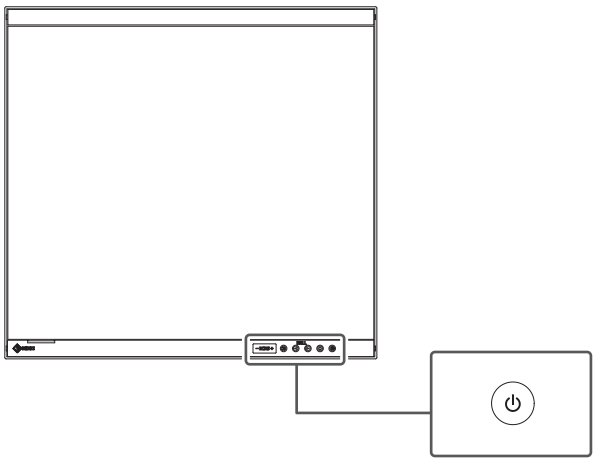
5. ケーブル類が抜けないよう結束バンドで固定します。



※1 この製品に結束バンドは付属していません。別途準備してください。

2.3 画面を表示する

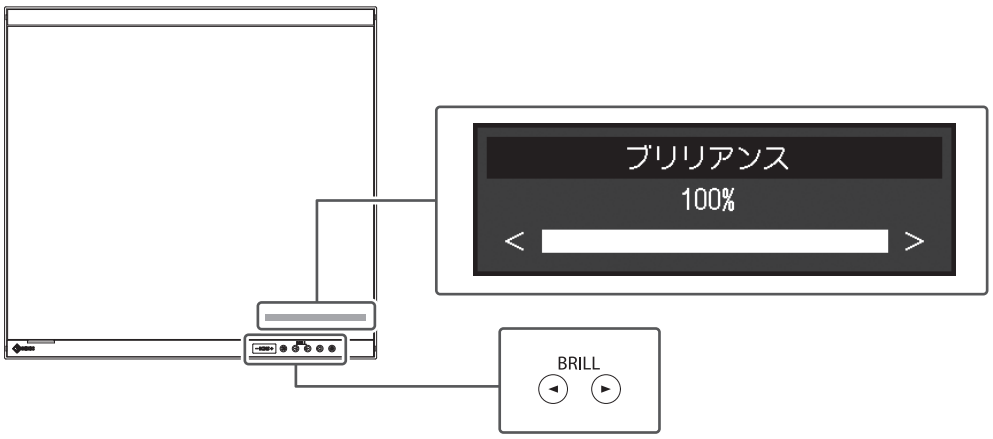
1. ⏻を押して、モニターの電源を入れます。
   モニターの操作ボタンが緑色に点灯します。



参考

- この製品の言語の初期設定は英語ですが、このセットアップマニュアル内では日本語のメッセージ画面を使用しています。言語の切り替えについては、モニターの取扱説明書を参照してください。

2. コンピュータの電源を入れます。
   画面が表示されます。
   電源を入れても画面が表示されない場合は、取扱説明書の「画面が表示されない場合」を参照してください。
3. 設置環境やお好みに合わせて、画面の明るさを調整します。
   設定範囲：0 % ～ 100 %



2.4 タッチパネルをセットアップする（タッチパネル搭載モデルのみ）

2.4.1 タッチパネルの設定方法

この製品のタッチパネルの機能は、使用するドライバおよびその設定により異なります。用途に合わせて設定してください。

機能	Windows標準ドライバ	専用のタッチパネルドライバ（DMT-DD）※1	
ドライバのインストール	不要	必要	
タッチ音の出力	×	○	
複数接続※2	○	○	
動作モード	タッチデジタイザー※3	タッチデジタイザー※3※4	マウスエミュレーション※4
マルチタッチ操作	○	○	×

※1 当社のWebサイト（www.eizo.co.jp）からダウンロードできます。

※2 2台以上のこのモニターを1台のコンピュータに接続できます。複製表示（複数台のモニターで同じ画面を表示）には対応していませんので、拡張表示で使用してください。

※3 マウスエミュレーションで設計されたアプリケーション上ではタッチ操作が認識されない場合があります。

※4 設定方法の詳細はタッチパネルドライバの取扱説明書を参照してください。

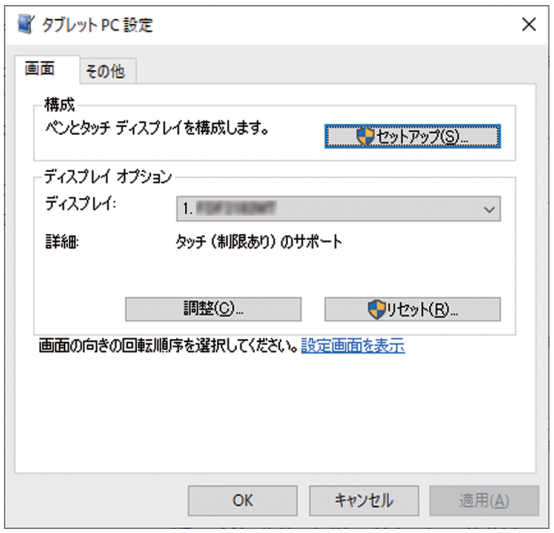
注意点

- 設定が完了したら、ソフトウェア「TPOffset」を実行し、タッチパネルの感度を調整してください。TPOffsetは当社のWebサイト（www.eizo.co.jp）からダウンロードすることができます。
- 初回設置の際、または設置環境を変更した場合には、「TPOffset」を必ず実行してください。

2.4.2 タッチ操作を設定する（Windows標準ドライバを使用する場合）

マルチモニター環境の場合は、タッチ操作の設定をおこないます。

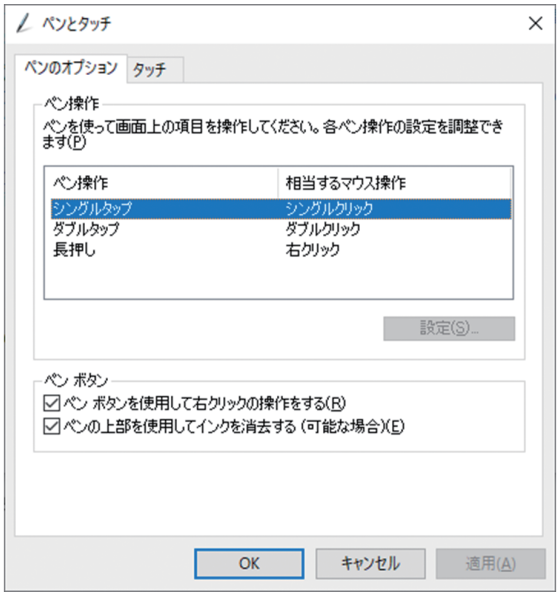
1. Windowsのコントロールパネルを開きます。
   開き方はOSによって異なります。
   Windows 11
   スタートメニューの「すべてのアプリ」-「Windowsツール」-「コントロールパネル」をクリックします。
   Windows 10
   スタートメニューの「すべてのアプリ」-「Windowsシステムツール」-「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「ハードウェアとサウンド」-「タブレットPC設定」をクリックします。
   「タブレットPC設定」画面が表示されます。



3. 「画面」タブの「セットアップ」をクリックします。
   背景が白色のタッチスクリーン指定画面が表示されます。
4. 画面の指示に従ってタッチパネルモニターを指定します。
   タッチした画面がタッチスクリーンであることが認識されます。

2.4.3 タッチパネルの操作設定をおこなう（Windows標準ドライバを使用する場合）

1. Windowsのコントロールパネルを開きます。
   開き方はOSによって異なります（タッチ操作を設定する（Windows標準ドライバを使用する場合） [P. 25]参照）。
2. 「ハードウェアとサウンド」-「ペンとタッチ」をクリックします。
   「ペンとタッチ」画面が表示されます。



   「ペンとタッチ」画面でタッチパネルの操作設定をおこないます。設定の詳細は、各設定画面やWindowsのヘルプなどを参照してください。
3. 設定が完了したら、「OK」をクリックして画面を閉じます。

一部の画像はMicrosoftの許諾を得て使用しています。

2.5 ECDISのセットアップ

このモニターはECDIS（Electronic Chart Display and Information System）に組み込むことができます。

組み込むためには次の情報が必要になります。

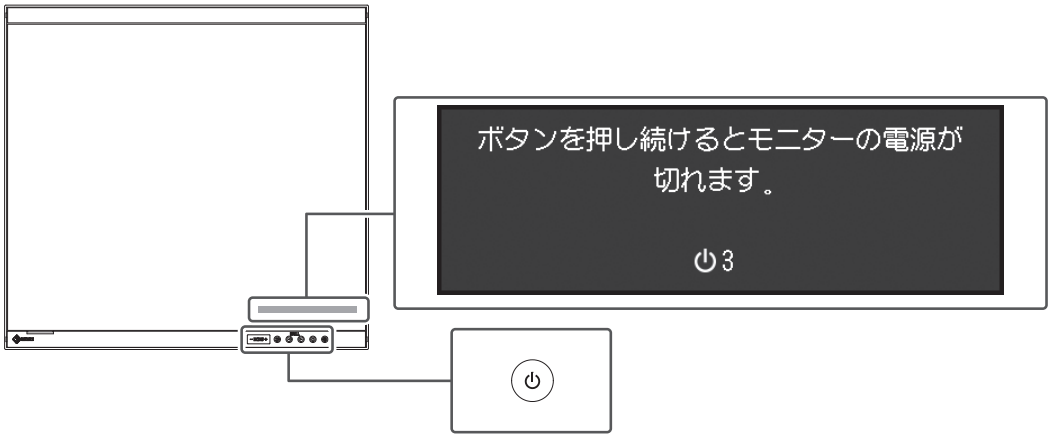
- ECDISカラーテーブル仕様
- モニター制御コマンド仕様

詳細は、別紙のお客様ご相談窓口または当社Webサイト（www.eizo.co.jp）にお問い合わせください。

ECDIS規格に準拠した表示をおこなうためには、モニター側で設定が必要になります。詳細は、モニターの取扱説明書を参照してください。

2.6 電源を切る

1. ⏻ボタンを5秒以上押します。
   画面に電源が切れるまでの残り時間が表示された後、電源が切れます。
   ⏻ボタン以外の操作ボタンが、消灯します。



注意点
• 電源を完全に遮断するためには、AC電源コードとDC電線を抜いてください。

保証書

この保証書は、購入日がわかる書類（納品書やレシートなど）とともに保管し、保証を受ける際はご提示ください。

製品名	保証期間
DuraVision® MDS1901	お買い上げの日より **3 年間**

記入欄

フリガナ お名前　　様	製造番号（S/N） 製造番号は、本体の背面部のラベル上に表示されている8桁の番号です。
TEL　　（　　）	お買い上げ年月日　　年　　月　　日
〒 ご住所	販売店の住所、店名

保証規定

1. この製品の取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合、無償で故障箇所の修理または交換をいたします。保証書を添えてお買い上げの販売店またはEIZOメンテナンスセンターにお申しつけください。
2. 保証期間内でも次のような場合には、有償となります。
   - 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
   - お買い上げの後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧などの外部要因や、塵・埃に起因する故障および損傷
   - 強い振動や衝撃を受ける場所に搭載された場合に生じる故障および損傷
   - 当社が想定する使用環境や使用状況を逸脱した場合
   - 電池の液漏れによる故障及び損傷
   - 液晶パネル、バックライトの経年劣化（輝度の変化、色の変化、輝度と色の均一性の変化、焼き付き、欠点の増加など）
   - センサー経年変化による性能劣化（測定値の変化など）
   - 外装（液晶パネル、タッチパネル、保護パネルの表面、キャビネットなど）の劣化、変色
   - 付属品（ケーブル、取扱説明書、CD-ROMなど）の故障、損傷、劣化、紛失
   - 当社指定の消耗品（電池、リモコン、タッチペンなど）の故障、損傷、劣化、紛失
   - 塵・埃などの外的要因による冷却ファンの異音、回転不良
   - 技術革新などにより製品に互換性がなくなった場合
3. 保証書は、保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理または交換をお約束するものです。保証期間経過後の修理または交換については、お買い上げの販売店またはEIZOメンテナンスセンターにお問い合わせください。
4. 当社では、この製品の補修用性能部品（意匠部品を除く、製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の生産終了後、最低10年間保有いたします。この期間の経過後は、修理を承ることができません。
5. 修理の際に当社の品質基準に達した再生部品を使用することがあります。
6. 修理状況や補修用性能部品の在庫切れなどにより修理できない場合は、修理に代えて同等性能製品への置き換えを提案させていただくことがあります。
7. 当社は、この製品の使用または故障により生じた直接、間接（逸失利益などを含む）のいかなる損害について責任を負いません。また、この製品の記憶装置に記録された内容の消失などについても同様です。
8. 保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
9. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

EIZO株式会社
〒924-8566　石川県白山市下柏野町153番地

www.eizo.co.jp

00N0N723A2
SUM-MDS1901

Copyright © 2026 EIZO Corporation. All rights reserved.

1st Edition – June, 2026